



エルモス

第32号 (2025.4~2026.3)

ermos



倉敷商工会議所女性会

会長あいさつ



会長という大役を
拝命して早いもので
2期4年が過ぎまし
た。

在任中、会員の皆
様には女性会の活動
に多大なるご協力と
ご支援をいただき、

無事に任務を終えることが出来ました。

倉敷商工会議所設立以来96年にして、
初の女性会頭に大原あかね様のご就任さ
れましたことにも感慨深い思いござい
ます。

この4年間を振り返りますと、能登半島
の地震や各地での大規模火災など、多く
の災害がありましたが、ようやく戻りつ
つある平穏な日常に感謝するとともに、

多くの女性会が抱えている「会員減少」
という深刻な課題に直面した期間でもあ
りました。

日々変化する社会情勢と皆様のニーズ
を捉え、会員の皆様が個性を生かし、こ
れからの時代を担う若い世代が挑戦した
くなる事業を開催することの重要性を感
じた4年間でした。そのためには、これま
での伝統を守りつつも新しさを取り入れ
ていく「共存」が必要だと考えておりま
す。

最後になりましたが、倉敷商工会議
所、関係各位、並びに会員の皆様に当会
へのさらなるご支援とご協力をお願い申
し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

<商工会議所女性会 活動指針>

わたしたち、商工会議所女性会は、
リーダーとして、凛と信をもって連帯し、
平和で心豊かな社会を築きましょう。

- 一、リーダーとは、高い志をもって、自己の変革・向上を目指すことです。
- 二、凛とは、情熱・勇気をもって行動し、社業の発展に努め、地域社会に貢献することです。
- 三、信とは、礼節・勤勉を尊び、美しい自然や良き伝統・文化を愛し、次の世代に継承することです。
- 四、連帯とは、女性経営者の友情と信頼の輪を内外に広げることです。

倉敷桜まつり協賛バザー

15人の会員が協力し、春
のイベントを開催しまし
た。

会員の意見を取り入れた
オリジナル「お花見寿し」
340食は早々に完売。

季節限定の「お花見だんご」も登場し、「見た
目も味も春らしい」「毎年楽しみにしている」と
好評でした。今後も地域との繋がりを大切に、
賑わいを創出する事業をお届けしていきます。



◇事業委員会◇
倉敷アイビースクエア R7.3.30

第34回通常総会

◇総務委員会◇
倉敷商工会館 R7.5.21

会員38人が出席し開催されました。

竹内会長は、絵画コンクール等の活動が「子供たちのふるさとへの誇りを育む一助となってほしい」と挨拶しました。議事では令和6年度事業報告等が承認され、新入会員5名も紹介しました。

引き続き、倉敷製帽(株)取締役会長で当所相談役の岡荘一郎氏を講師に招き、「倉敷のまちづくりの今」と題した記念講演がありました。

終了後は新入会員を交えて食事をしながら、地域貢献に向け活発な意見交換を行いました。



視察研修旅行

◇総務委員会◇
大阪・関西万博 R7.5.26

万博会場の賑わいを体感しようとして視察研修を実施しました。

大阪商工会議所に出迎えて頂いた後、オーストラリア館の360度スクリーンが映し出す海洋生物の映像美やインド館の展示を五感で楽しめました。大屋根リングから全員で眺めた景色は、万博の世界観と共に心に残るひとときとなりました。フリータイムにはフランス館や水上ショーを観覧するなど、親睦を深めつつ世界の文化に触れる有意義な研修となりました。



県女連令和7年度通常総会

岡山コンベンションセンター R7.6.27

県内12女性会より55人が集まり、当会からは3人が出席しました。

この後議事に移り、9月開催の「会員講演会・吉備楽鑑賞会」を含む、令和7年度年間行事予定表等が承認され、引き続き、西大寺活性化協議会 北前船委員会の内田薫委員長を講師に招き、西大寺の北前船寄港地としての繁栄を学ぶ記念講演が行われました。

他会の会員との交流を通じ、地域活性化への連帯を再確認する一日となりました。



会員親睦会

◇事業委員会◇

せとうち児島ホテル レストラン&バー port blanc R7.7.4

新入会員5名の歓迎を兼ね、親睦食事会を開催し、24人が参加しました。

瀬戸内海を一望する絶景の中でコース料理を楽しみました。その後のフリータイムでは活発な名刺交換が行われるなど、終始和やかな雰囲気の中で交流を深めました。

参加者からは「素敵な景色で元気が出た」「明るい仲間が増えて嬉しい」との声があがり、女性会のさらなる活性化となる集いとなりました。



第38回中女連防府大会

防府グランドホテル R7.7.8

中国地方の女性会より206人が集まり、当会からは4人が出席しました。

式典では地域における女性活躍推進への期待が述べられ、高樹のぶ子氏による記念講演で平安時代の文化を学びました。

懇親会では、伝統行事「お笑い講世界選手権」が行われ、会場は大きな笑い声に包まれました。

5県の女性会が信頼の輪を広げ、ともに歩む決意を新たにした、貴重な時間となりました。

次回の総会及び大会は鳥取県鳥取市で開催されます。



天満屋ふれ愛バザール

◇事業委員会◇

天満屋倉敷店 R7.9.20

地域交流と社会貢献を目的とした恒例のバザールを開催しました。

会場には会員事業所提供の日用品等約480点が並び、地元の方々に広く周知されているおかげで、開店と同時に会場は活気に満ちあふれました。

会員17人は接客を楽しみながら、昨年を上回る売上を達成しました。

収益の一部は継続的に地域社会へ還元していきます。



県女連令和7年会員講演会・吉備楽鑑賞会

ピュアリティまきび R7.9.29

県内の女性会が集まり、最新の知見と郷土芸能に触れる会に、当会から10名が参加しました。

第1部の講演では、エボラニ(株)CMOの積高之氏による「Society5.0時代の人材育成」について学び、デジタルスキル修得の重要性を再認識しました。

第2部では岡山発祥の「吉備楽」を、楽器の解説と演奏で楽しみました。

時代の変化に柔軟に対応するための知識と、伝統を愛する心の両面を養う、非常に実り多い一日となりました。



第57回全女連東京全国大会

ホテルニューオータニ R7.10.10

全国284女性会より約1,360人、当会からは竹内会長をはじめ6人が参加しました。

大会に先立ち、畠山笑美子全女連会長がご逝去された旨の報告があり、続いて秋川雅史氏による追悼コンサートが行われました。

表彰式では、当会の木村かや子理事が副会長10年間の功績を認められ「特別功労者」として表彰されました。

日商の小林会頭や小池都知事からは、女性の柔軟な発想による地域経済の活性化に期待が寄せられました。

次の全国大会は神奈川県横浜市で開催予定です。



屏風祭協賛バザー

◇事業委員会◇

(株)三楽事務所前 R7.10.18-19

倉敷屏風祭に協賛し、2日間にわたりバザーを実施しました。

特別に作った「秋まつり寿し」や巻き寿し、ラムネ等を販売し、延べ760食が早々に完売する盛況ぶりでした。

26人の会員が仕分けや接客に協力し、国内外の観光客から「旅行の思い出になった」と感謝の声も寄せられました。

地域の賑わいに貢献するとともに、会員同士の結束もより深まった2日間となりました。



大原副会頭との食事会

大原あかね会頭就任を前に9月から10月にかけて全3回、女性会との食事会を開催し、計17名の会員が参加しました。

席上では「子育てや介護の課題に向き合ってほしい」「会全体の声を聞ける機会を設けてほしい」など、経営者・市民としての切実な提案が相次ぎました。

膝を突き合わせて対話することで、お互いの現状認識を深める貴重な機会となり、更なる飛躍に向けた大変有意義な提言の場となりました。



第1回 あぶと倉敷館天領 R7.9.12



第2回 Sweet milcrown R7.10.1



第3回 四季彩料理 成一 R7.10.28

Instagram勉強会

◇総務委員会◇
倉敷商工会館 R7.12.3・R7.12.9

女性会公式アカウント開設に向けた第一歩として、講師に会員の中尾順子氏を迎え2日間の勉強会を実施しました。

延べ18人が参加し、基本操作からセキュリティ対策まで幅広く学習しました。講義後には個人アカウントを開設する意欲的な姿も見られました。

「始めたいと思った」との前向きな感想が多く、情報発信力の強化に向けた一歩となりました。

今後、公式Instagramの開設に向けて、女性会全体で準備を進めます。



令和8年新年祝賀会

◇事業委員会◇
倉敷国際ホテル R8.1.8

令和8年の幕開けを祝う祝賀会に会員34人が集いました。
竹内会長は「初の女性会頭就任は大きな喜び」と述べ、会員とともに事業を盛り上げる抱負を語りました。

大原会頭より「女性会の活躍に期待している」とエールをいただき、岡山弁落語家のジャンボ亭小なん氏の余興では会場が大きな笑いに包まれました。

会員同士の絆を深め、さらなる飛躍を予感させる新年のスタートとなりました。



真庭方面視察研修

◇総務委員会◇
お食事処 西藏 他 R8.3.3

勝山のお雛まつりに合わせ視察研修を実施し、22人が参加しました。

開店と同時に訪れた真庭あぐりガーデンで買い物を楽しみ、NISHIKURAでは華やかなお雛膳を堪能しました。午後は雨も上がり、のれん彩る町並みを散策して歴史文化に触れました。

また、130年続く老舗の河野酢味噌製造工場を訪ね、発酵の工程や糀の効能を学び、伝統を次世代へ繋ぐ姿に刺激を受けました。

地域の文化と
伝統産業への理
解を深める有意
義な旅となりま
した。



寄 付



◇令和8年3月23日

『倉敷市よい子いっぱい基金』30,000円

倉敷桜まつり協賛バザー、天満屋ふれ愛バザール等の収益金の一部を、子どもたちの健全な成長を願って今年度も「倉敷市よい子いっぱい基金」へ寄付させていただきました。



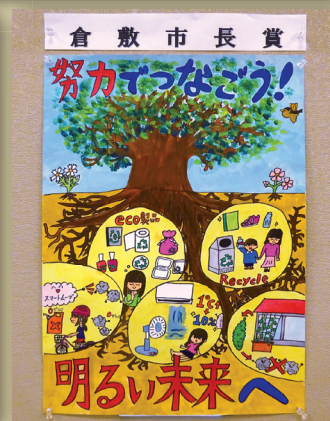
小学生 「環境・ゴミ・省エネルギー問題」 絵画コンクール作品展

◇総務委員会◇

【表彰式・展示】倉敷市民会館 R7.11.29(土)・30(日)
【車内掲示】水島臨海鉄道車内 R7.12.20(土)～R8.1.4(日)

市内小学校から環境問題をテーマに描かれた12校285点の応募があり、倉敷市長賞をはじめ、優秀作品31点を選出しました。

今年度は市民会館での表彰式後、初めての試みとして水島臨海鉄道の車内に作品を展示し、受賞者を招いた鑑賞会を実施しました。家族とともに自分の作品を眺める受賞者からは、喜びの声があがり、年末年始の運行を通じ、子どもたちの想いとともに環境保全のメッセージを広く地域へ届けました。



編集後記

「若い新入会員を迎え、新たな風を感じる一年となりました。」

これからも交流と学びを大切にしながら、未来へつながる活動を続けてまいります。

原稿編集のご協力、ありがとうございました。」

総務委員会

会員60名(R8.3.31)

